



くりっく 365 チャート操作マニュアル  
(リッチクライアント版)

## 目次

<b>ご利用にあたって</b> .....	<b>3</b>
リッチクライアントチャートの機能 .....	3
リッチクライアントの注意点 .....	4
<b>チャート画面の基本表示</b> .....	<b>5</b>
画面全体イメージ .....	5
マウス操作 .....	6
右クリックメニュー .....	8
<b>チャートの基本設定（メインメニュー）</b> .....	<b>10</b>
チャートの表示 .....	10
その他の基本メニュー .....	11
チャートタイプ設定 .....	14
チャートタイプ設定 ～チャートの色等を変更する方法～ .....	15
<b>テクニカル指標の表示</b> .....	<b>17</b>
テクニカル指標の表示～チャート上にテクニカル指標を表示します。 .....	17
分析ツールの設定について .....	19
テクニカル指標の登録 .....	21
テクニカル指標の呼出 .....	22
テクニカル指標の削除 .....	24
<b>ラインツールバー（チャート右アイコン）</b> .....	<b>25</b>
トレンドライン .....	25
トレンドラインの色の変更方法 .....	26
トレンドラインを複数・連続して引く方法 .....	26
水平線・垂直線・アラーム線 .....	27
フィボナッチ分析ツール .....	30
回帰線 .....	31
分析ツール .....	32
期間分析ツール .....	33
テキスト・イメージ .....	34
サークル・ボックス・トライアングル .....	35
削除・全て削除 .....	36
<b>チャートコントロールバー（チャート下アイコン）</b> .....	<b>37</b>
時間軸スクロールバー .....	37
チャート右側余白減少・増加 .....	38
時間軸設定 .....	39
選択領域拡大 .....	40
データウィンドウ .....	41

注文ライン・注文ラベル .....	42
建玉（ポジション）ライン・ラベル .....	42
プライス受信時に最後のローソクに移動 .....	43
Y 軸反転 .....	44
Y 軸の固定・固定解除 .....	45
チャートツール表示/非表示 .....	46
<b>チャート表示分割タブ（チャート下タブ） .....</b>	<b>47</b>
表示通貨ペアタブ .....	47
チャート追加・チャート削除タブ .....	48
表示切替タブ .....	48
画面設定タブ .....	49
<b>チャート環境設定 .....</b>	<b>50</b>
表示オプション 1 .....	50
表示オプション 2 .....	51
座標軸 .....	52
罫線/区分線 .....	53
チャート表示スタイル .....	54
その他オプション .....	55
注文（表示制御）・（表示スタイル）、トリガ（表示スタイル） .....	56
建玉（表示制御）、建玉（表示スタイル） .....	57
<b>注文 .....</b>	<b>58</b>
新規注文 .....	58
決済注文 .....	59
注文変更・取消 .....	60

本操作マニュアルで使用している取引ツールの画像はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

## ご利用にあたって

### リッチクライアントチャートの機能

時間足	ティック 分足 時間足 日足 週足 月足	1~100 ティック 1~120 分 1~12 時間 1~10 日 1~10 週間 1~10 ヶ月
チャートタイプ	11 種類 ・ローソク足 ・平均足 ・ラインチャート ・バーチャート ・P&F など	
テクニカル指標	トレンド系	24 種類 ・移動平均 ・一目均衡表 ・エンベロープ ・ボリンジャーバンド ・パラボリック SaR など
	オシレーター系	26 種類 ・RSI ・RCI ・スローストキャスティクス ・モメンタム ・MACD など
描画ライン	21 種類 ・トレンドライン ・フィボナッチトレースメント ・ギャンファン ・期間分析 など	
チャート発注	成行、指値、トリガ（逆指値）、If Done、IF DoneOCO、OCO、ストリーミング	

## リッチクライアントの注意点

チャート画面やテクニカル指標はいくつでも設定表示することができますが、設定数が多い場合、データを一度に更新するため、パソコンに負荷がかかり、リッチクライアント版お取引ツール自体が起動しなくなることがございます。ご注意ください。

	くりっく 365
対応レート	・買気配 ・売気配 ・約定値
テクニカル指標 ・出来高 ・出来高&移動平均 ・出来高Ⅱ	あり
テクニカル指標 ・RMF&移動平均 ・RMFⅡ ・Rate Move Frequency	なし

## チャート画面の基本表示

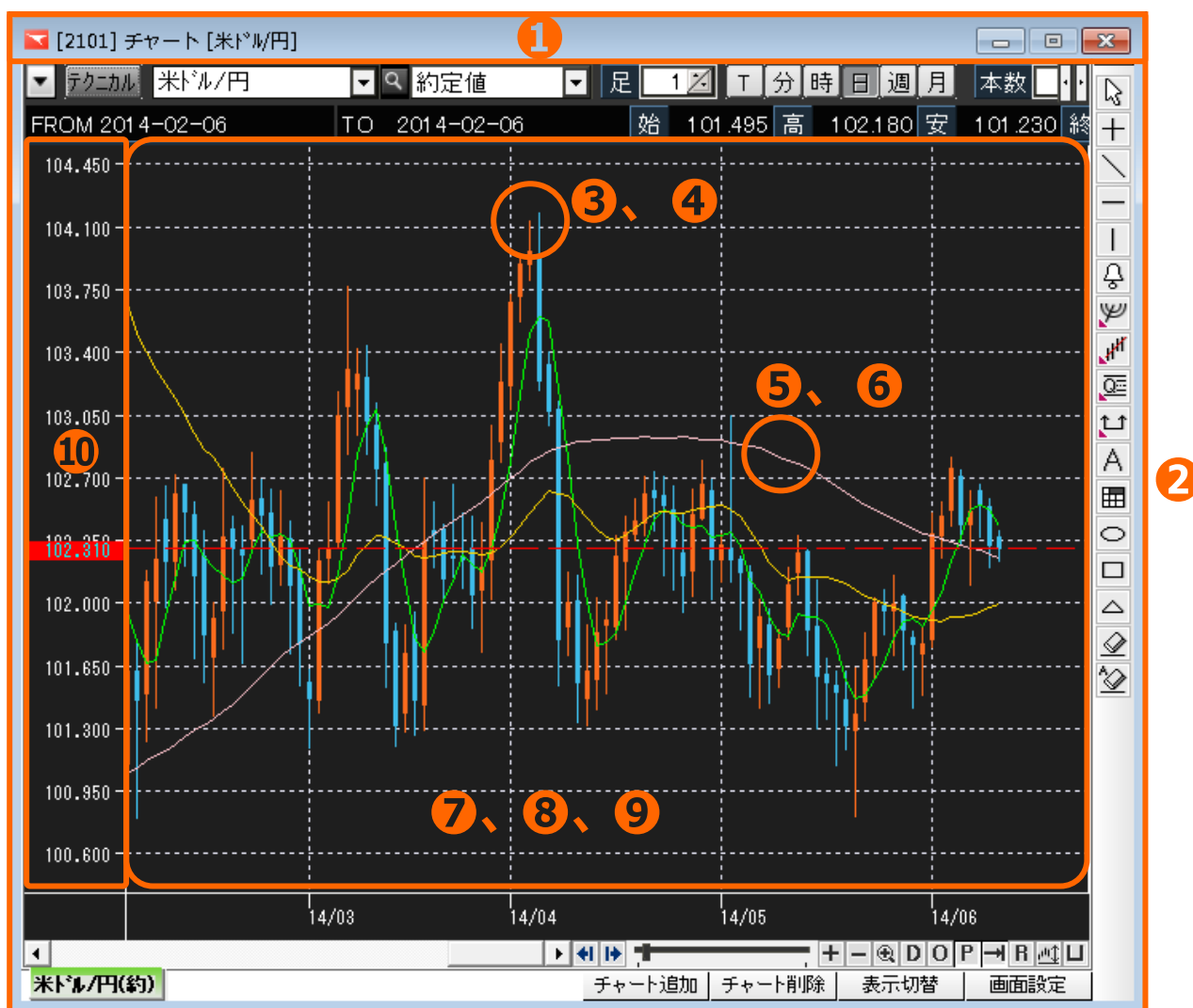
### 画面全体イメージ

- ① チャート基本設定メニュー（[関連→チャートの基本設定（メインメニュー）](#)）
- ② テクニカル指標の設定やチャートタイプの選択メニュー（[関連→テクニカル指標の表示](#)）
- ③ ラインツールバー（[関連→ラインツールバー（チャート右アイコン）](#)）
- ④ チャートコントロールバー（[関連→チャートコントロールバー（チャート下アイコン）](#)）
- ⑤ チャート分割表示タブ（[関連→チャート分割表示タブ（チャート下タブ）](#)）



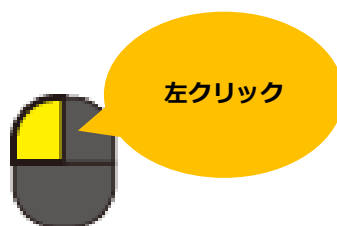
## マウス操作

「左クリック」「右クリック」「ダブルクリック」「ドラッグ（左クリックしたままマウスを動かす）」  
項目・場所ごとのマウス操作とその内容をご紹介します。



①	チャート画面の上部帯（フレーム）を左クリックしてドラッグ	リッチクライアント内でチャートの表示位置を移動させることができます。
②	チャート画面の枠（フレーム）にマウスポインタを合わせ、左クリックしてドラッグ	チャート画面の大きさを拡大・縮小することができます。
③	チャートにマウスポインタを合わせ、ダブルクリック	「チャートタイプ設定」画面が開き、チャートタイプやローソク足の色などを変更することができます。
④	チャートにマウスポインタを合わせ、左クリックしてドラッグ（サブチャートのみ）	サブチャートをメインチャートに重ねる、メインチャートに重ねたサブチャートを元に戻すことができます。

⑤	テクニカル指標にマウスポインタを合わせ、ダブルクリック	「○○○プロパティ」画面が開き、指標の値や色などを変更することができます。
⑥	テクニカル指標にマウスポインタを合わせ、左クリックしてドラッグ (サブチャート利用時のみ)	メインチャートに表示されているテクニカル指標をサブチャートに移動 サブチャートに表示されているテクニカル指標をメインチャートに移動させることができます。
⑦	チャート背景部分で右クリック	ポップアップメニューが表示され、発注画面の表示や設定など色々行うことができます。
⑧	チャート背景部分でダブルクリック	「チャート環境設定」画面が開き、背景色や注文・建玉ラインなどの設定を行うことができます。
⑨	チャート背景部分で左クリックしてドラッグ	左右にドラッグすることで、過去チャートを確認することができます。
⑩	価格帯のY軸でダブルクリック	「Y軸設定」画面が開き、チャートの最大値・最小値の設定、また設定を解除することができます。





## 右クリックメニュー

チャート上で右クリックすると表示されるメニューについてご紹介します。



①	成行（買/売）	表示している通貨ペアの「成行注文画面（単一）」画面が開きます。
②	指値・トリガ（買/売）	表示している通貨ペアの「指値・トリガ注文画面（単一）」画面が開きます。 右クリックした価格に呼応する注文（指値買・トリガ売または トリガ買・指値売）が有効になります。
③	単一注文 IfDone IfDoneOCO OCO ストリーミング注文	それぞれの注文画面が開きます。
④	チャートタイプ設定	「チャート選択」画面（ローソク足や平均足など）、 「Y 軸設定」画面（表示価格の最大値・最小値）が開きます。
⑤	チャート環境設定	背景色の設定や、建玉・注文に関する表記の設定画面が開きます。

⑥	分析ツール追加 分析ツール削除 分析ツール管理	<p>追加：テクニカル指標一覧画面が開き、チャート上に追加することができます。</p> <p>削除：表示中のテクニカル指標 1 つを左クリックし選択している状態のみ有効になります。</p> <p>選択しているテクニカル指標のみを削除することができます。</p> <p>管理：表示中のテクニカル指標の一覧画面が開きます。</p> <p>全てのテクニカル指標一度に削除したり、1 つずつ削除することができます。</p>
⑦	新しいウィンドウ追加 現在ウィンドウ削除	<p>追加：空白のウィンドウを追加することができます。</p> <p>テクニカル指標の追加や単純に余白として使えます。</p> <p>削除：右クリックしたチャート領域のテクニカル指標をすべて削除することができます。</p>
⑧	登録テクニカル指標呼出	登録しているテクニカル指標のセットを呼び出すことができます。
⑨	テクニカル指標登録	<p>チャート上に設定したテクニカル指標のテンプレートとしてまとめて保存登録することができます。</p> <p>登録することにより、他のチャートに同じ設定値のテクニカル指標を表示させることができます（登録テクニカル指標呼び出しを利用）。</p>
⑩	CSV 形式でデータ出力	<p>表示し散るチャートの 4 本値（始高安終）とテクニカル指標の数値を CSV 形式で出力することができます。</p> <p>チャートデータを数値で見たいときや、より細かい分析を行いたいときに便利です。</p>

## チャートの基本設定（メインメニュー）

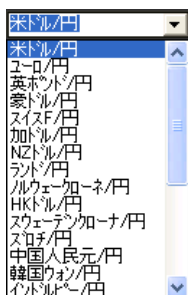
### チャートの表示

通貨ペア・足種等各項目を選択し、「適用」ボタンをクリックするとチャートが表示されます。



#### ①通貨ペアを選択

通貨ペアを「プルダウン」または「虫眼鏡マーク」から選択します。



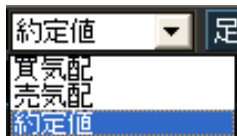
＜プルダウン＞  
▼マークをクリック  
すると通貨ペア一覧  
が表示されます。



＜虫眼鏡マーク＞  
クリックすると商品選択画面が  
表示されます。CCY1、CCY2、商品  
に入力すると絞りこみ検索するこ  
ともできます。

#### ②チャート種別（買気配・売気配・約定値）を選択

チャート種別を「プルダウン」から選択します。



＜プルダウン＞ 買気配→売り注文が成立する価格  
売気配→買い注文が成立する価格  
約定値→売買どちらかが成立した価格

#### ③足種別（Tick・分・日・週・月）と期間を選択

1. 足種別のボタンをクリックします。

「T：ティック」「分：分足」「時：時間足」「日：日足」「週：週足」「月：月足」

2. 期間を選択します。

- ・ ティックチャート：1～100 例) 70 : 70 ティックチャート
- ・ 分足チャート : 1～120 例) 15 : 15 分足
- ・ 時間足チャート : 1～12 例) 4 : 4 時間足
- ・ 日足チャート : 1～10 例) 5 : 5 日足
- ・ 週足チャート : 1～10 例) 4 : 4 週足
- ・ 月足チャート : 1～10 例) 1 : 1 月足

④チャート表示本数を選択 100本～3,000本まで選択、表示することが出来ます。

⑤「適用」ボタンをクリック 選択（設定）した内容のチャートが表示されます。

## その他の基本メニュー

### ①4 本値「始値・高値・安値・終値」を表示

▼マークをクリックすると、4 本値を表示させることができます。

※初期設定では ON になっています。

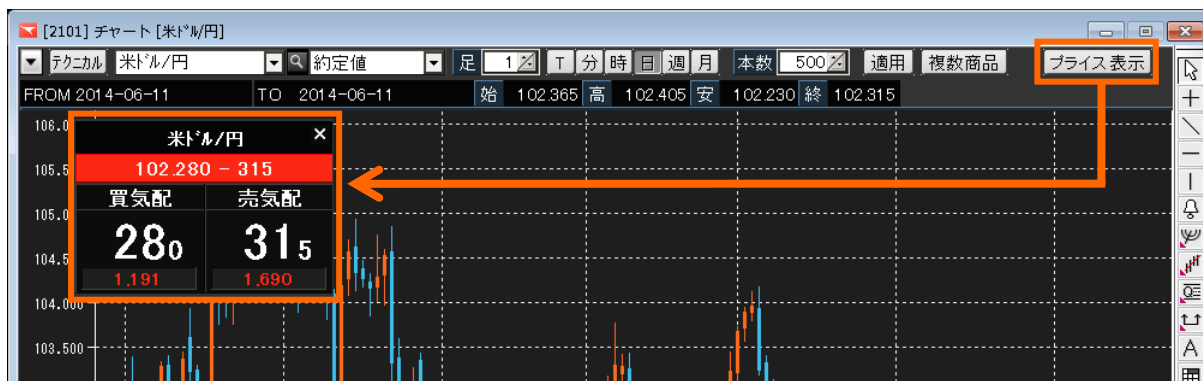


マウスポインタを合わせている時間帯の4本値を表示します。

※左図では、クロスラインを ON 設定し、表示しています。

### ②チャート上に選択している通貨ペアのプライス(個別パネル)を表示

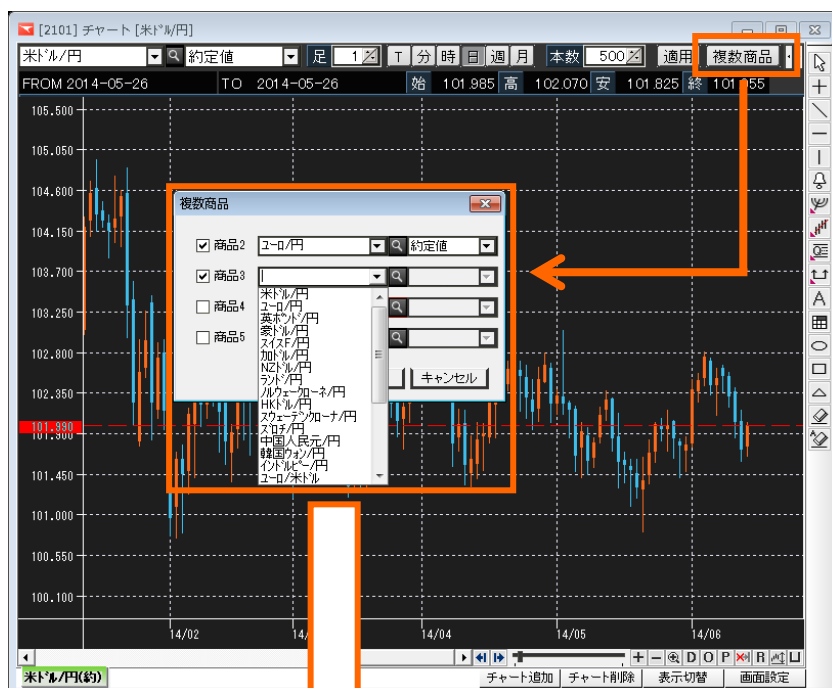
「プライス表示」をクリックすると、個別パネルを表示することができます。



※個別パネルは、チャート画面範囲内で任意の場所に移動させることができます。

### ③同一チャート画面複数のチャートを表示

「複数商品」ボタンをクリックし、設定画面内で表示内容を設定すると、同じチャート画面に複数のチャートを表示させることができます。最大5チャートまで同時表示が可能です。



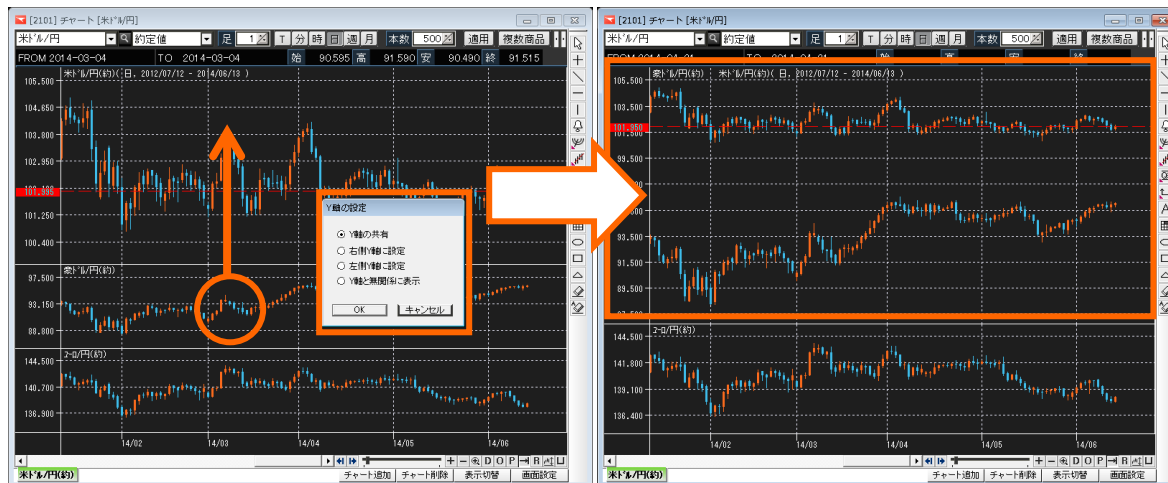
※各チャートの境目にある区分線をドラッグで上下することにより、大きさを縮小・拡大することができます。

### ③同一チャート画面複数のチャートを表示（応用編）

#### ■複数チャートを重ねる

移動させたいチャートを 左クリックし、そのまま ドラッグで重ねたいチャート 上で離します。

「Y軸の設定」画面にて、Y軸表示を設定し、「OK」 ボタンをクリックすると、チャートが重なります。

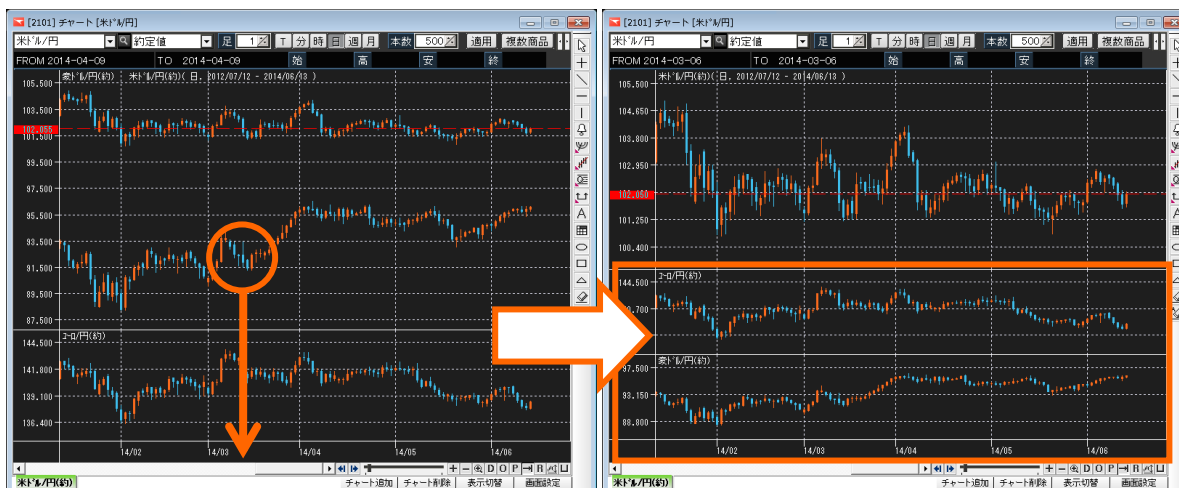


(右チャート) 1つのY軸に、2つのチャートが入り、重なりました。

同一Y軸内 上：米ドル/円（約定値） 下：豪ドル/円（約定値）

#### ■重ねたチャートをバラバラに戻す

移動させたいチャートを 左クリックし、そのまま ドラッグでチャート画面下の X 軸（時間帯）上で離します。



(右チャート) 移動させたチャートは 一番下に表示されます。

## チャートタイプ設定

表示するチャートのタイプを変更することができます。

【チャートタイプの種類】 11 種類

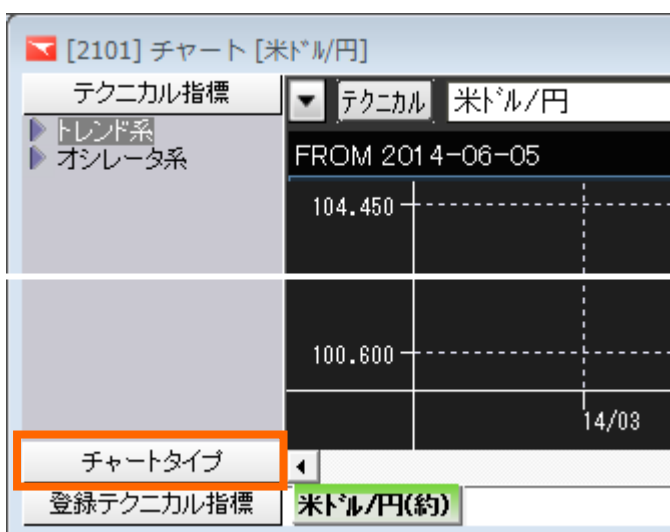
ローソク足、平均足、バーチャート、ラインチャート ローソクボリューム、エクイボリューム、ポイントアンドフィギュア、カギ足、練行足、新値足、逆ウォッチ玉線、

### ■チャート画面内「テクニカル」ボタンより設定する方法

1.チャート左上の「テクニカル」をクリックします。



2.チャート左下の「チャートタイプ」をクリックすると、選択可能なチャートタイプ一覧が表示されます。



3. 表示させたいチャートを「ダブルクリック」すると表示されます。



## チャートタイプ設定 ～チャートの色等を変更する方法～

1. 下記いずれかの方法で設定画面を表示させます。

①チャートの背景上で「右クリック」し、右クリックメニューを表示します。

メニュー内の「チャートタイプ設定」を左クリックします。

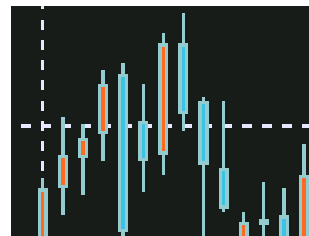
②ローソク足（表示中のチャート）にマウスポインタを合わせて、ダブルクリックします。



### ヒント!

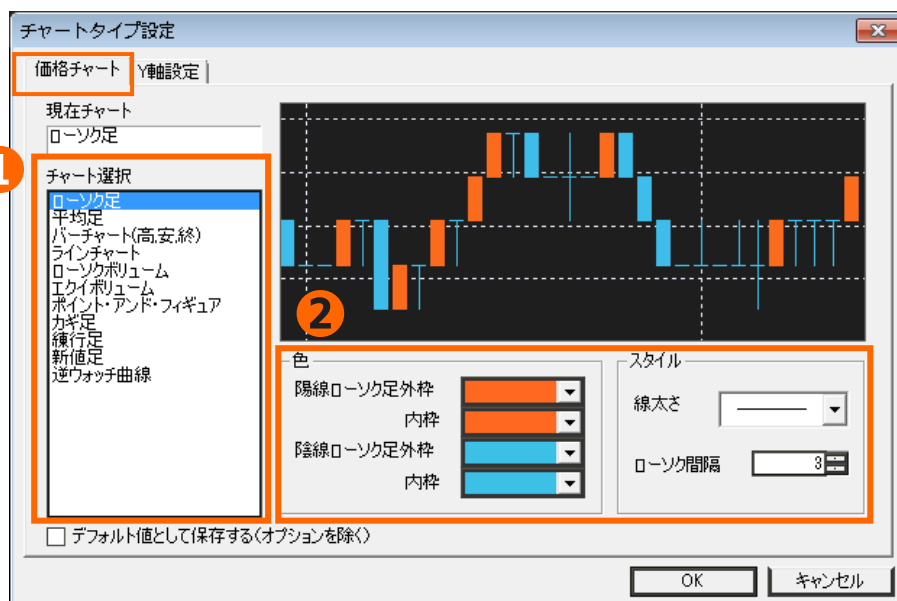
チャート上でクリック（またはダブルクリック）すると、下図のようにチャートの色が変わります。

変わらない場合は、マウスポインタがチャート上からずれてしまっていますので調整してください。





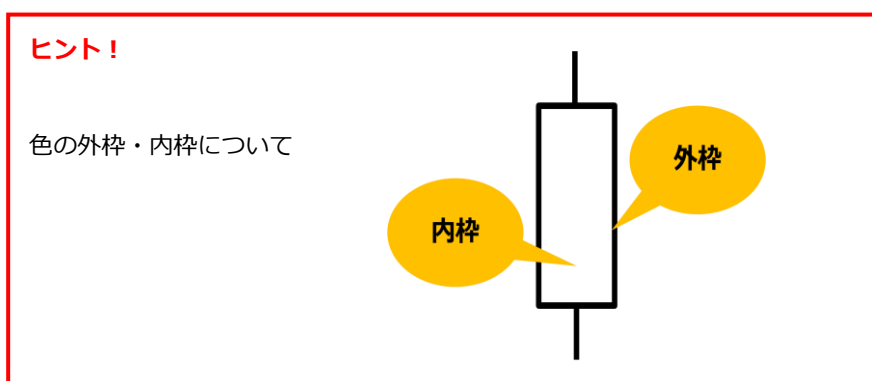
2.チャートタイプ設定画面「価格チャート」で、表示チャートや色を変更することができます。



①「チャート選択」欄で、表示させたいチャートを選択することができます。  
選択後、「OK」ボタンをクリックすると反映されます。

②「色」「スタイル」プルダウンより、設定を変更することができます。  
選択後、「OK」ボタンをクリックすると反映されます。

※「デフォルト値として保存する」にチェックを入れ、OKボタンをクリックすると、次回設定時に保存された内容が初期値として表示されます。



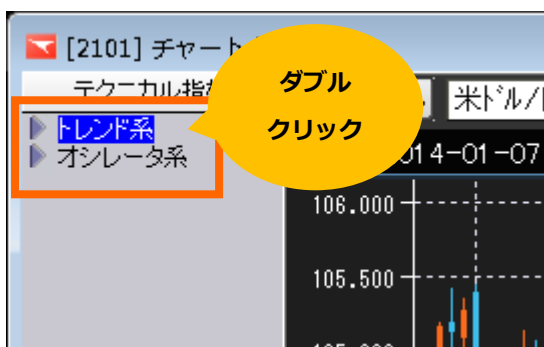
## テクニカル指標の表示

テクニカル指標の表示～チャート上にテクニカル指標を表示します。

1.チャート左上の「テクニカル」をクリックします。



2.「トレンド系」または「オシレータ系」をダブルクリックし、隠れているそれぞれのテクニカル指標を表示させます。



・トレンド系：

主に価格の方向性を分析する指標

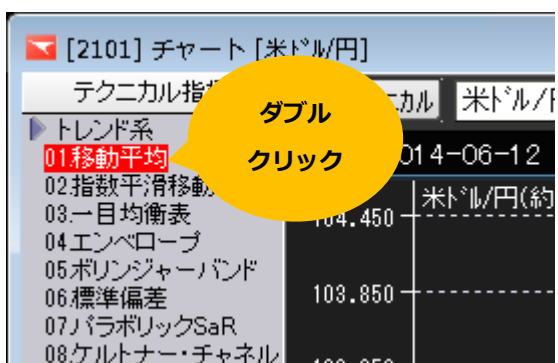
チャート（ローソク足など）上に重なるように表示されるものが多い

・オシレータ系：

主に相場の勢いや加熱性を分析する指標

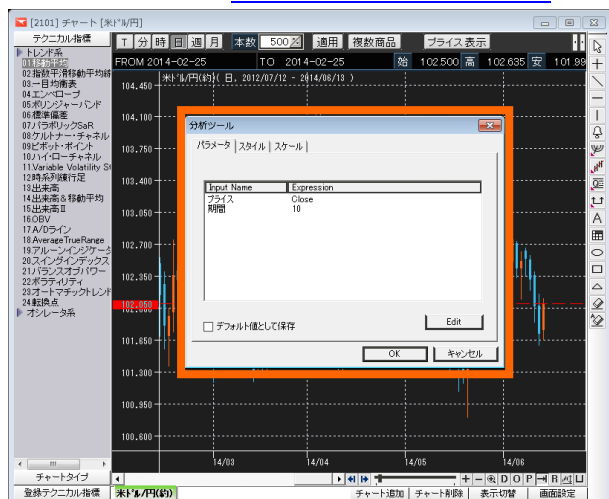
チャート下部に別枠で表示されるものが多い

3.表示したいテクニカル指標をダブルクリックします。



4.分析ツール画面が表示されます。項目（パラメータ・スタイル・スケール）毎に設定します。

（各設定方法は、「[分析ツールの設定について](#)」をご参照ください）



5.設定完了後、「OK」ボタンをクリックすると、チャート上にテクニカル指標が表示されます。



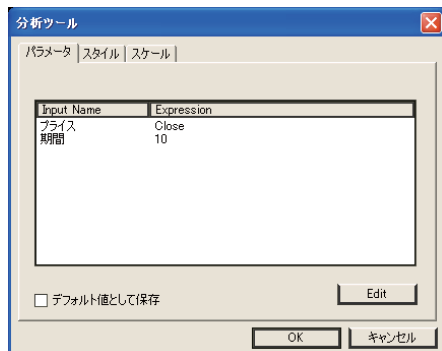
## 分析ツールの設定について

表示したテクニカル指標をダブルクリックすると、設定を変更することができます。

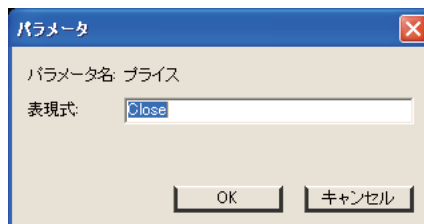
### ①パラメータ –テクニカル指標のパラメータ–を設定変更–

変更したい内容をクリックし、各パラメータ変更画面「表現式」にて変更することができます。

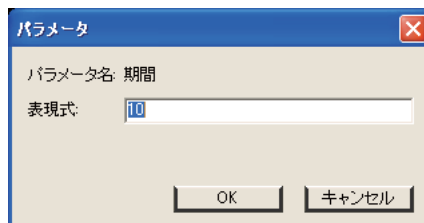
※パラメータはテクニカル指標によって異なります。



プライス : Close (終値)などを指定

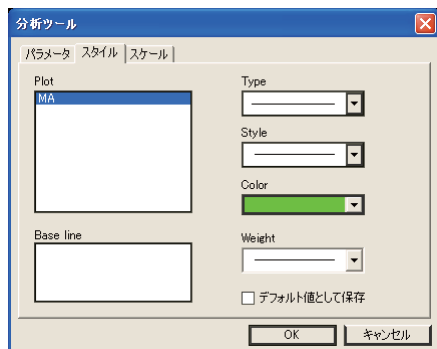


期間 : 算出する期間を指定

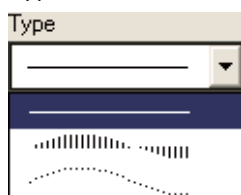


### ②スタイル –テクニカル指標のスタイルを選択–

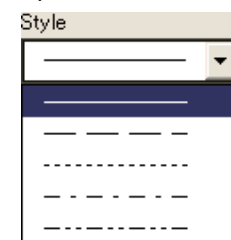
Plot、Base line など変更したい内容をクリックし、右側の各項目プルダウンから選択することができます。



Type : 型を選択



Style : 種類を選択



Color : 色を選択

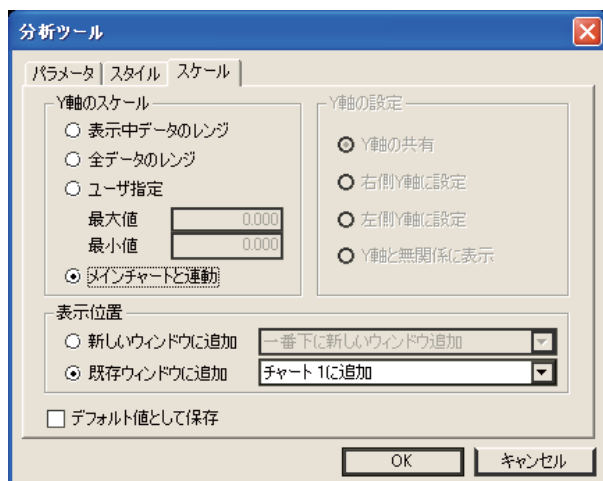


Weight : 太さを選択



### ③スケール –テクニカル指標の表示方法を選択–

テクニカル指標をどのように表示させるのかを選択することができます。



■ Y 軸のスケール: どの軸を基準として表示させるのが選択します。

【初期設定】(一部下記とは異なるものもあります。)

- ・トレンド系>メインチャートと連動
- ・オシレータ系>全データのレンジ

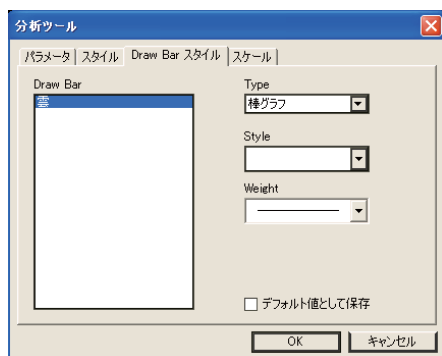
■ 表示位置: どこに表示させるのが選択します。

初期設定は以下となります。(一部下記とは異なるものもあります。)

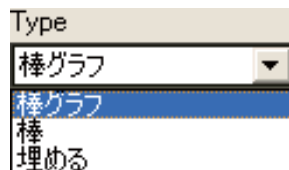
- ・トレンド系>
  - 既存ウィンドウに追加(チャート 1 に追加)
- ・オシレータ系>
  - 新しいウィンドウに追加 (一番下に新しいウィンドウ追加)

### ④Draw Bar スタイル

※一目均衡表選択時にのみ表示される項目です。



Type : 型を選択



#### ヒント!

各設定画面「デフォルト値として保存」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックすると、次回同じテクニカル指標を設定する際に、保存された値で表示させることができます。

## テクニカル指標の登録

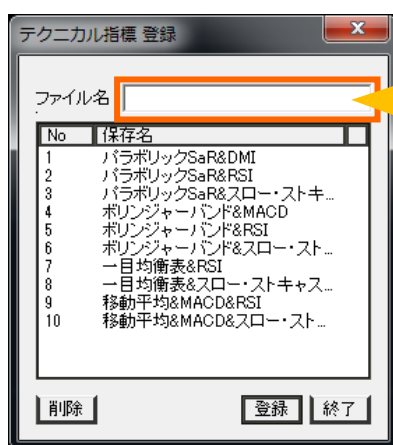
チャートに表示したテクニカル指標やそれぞれの指標のパラメータなどの設定値を保存し、新しいチャートを表示させた際に呼び出すことが可能です。

1.保存したいテクニカル指標をチャート上に表示させ、チャートの背景を右クリックし、右クリックメニュー「テクニカル指標登録」を選択します。



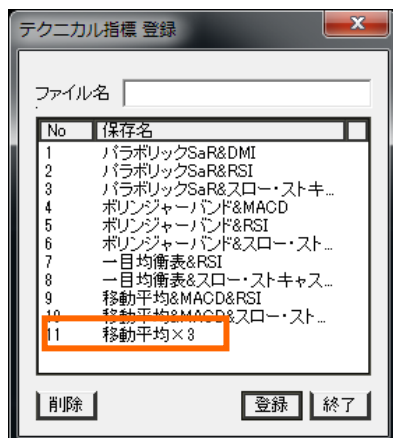
異なる設定値の移動平均線を  
3つ表示させています。

2.ファイル名に好きな名前を入力し、「登録」ボタンをクリックします。



初期設定では、インヴァスト証券にて10種類登録しています。

登録されると、同画面で確認することができます。



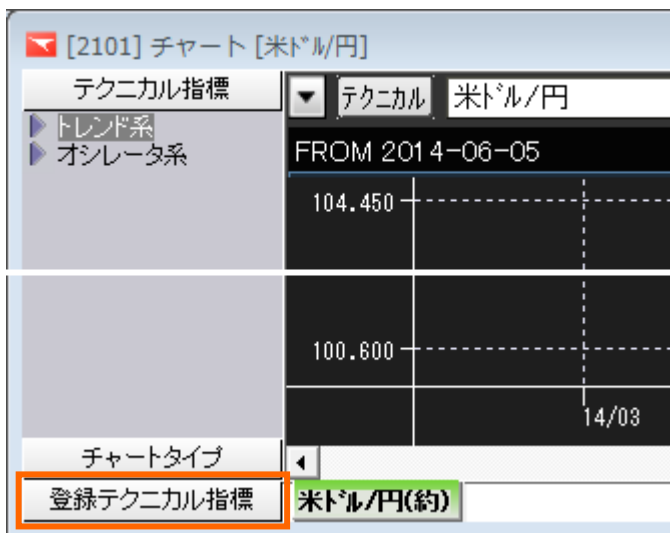
## テクニカル指標の呼出

登録テクニカル指標を表示することができます。

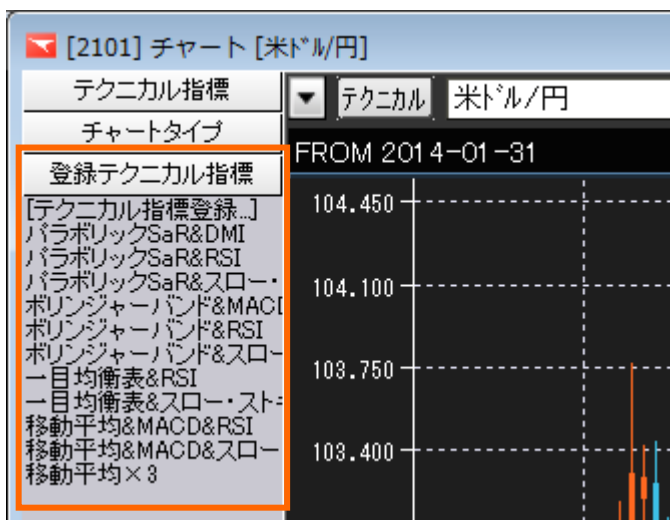
- 1.チャート左上の「テクニカル」をクリックします。



- 2.チャート左下の「登録テクニカル指標」をクリックします。



- 3.選択可能な登録されているテクニカル指標の一覧が表示されます。



4.表示させたいテクニカル指標を「ダブルクリック」すると表示されます。



■右クリックメニュー「登録テクニカル指標呼出」からも表示できます。

No	保存名
1	パラボリックSaR&DMI
2	パラボリックSaR&RSI
3	パラボリックSaR&スロー・スト...
4	ボリンジャーバンド&MACD
5	ボリンジャーバンド&RSI
6	ボリンジャーバンド&スロー・スト...
7	一目均衡表&RSI
8	一目均衡表&スロー・ストキャス...
9	移動平均&MACD&RSI
10	移動平均&MACD&スロー・スト...
11	移動平均×3



## テクニカル指標の削除

表示しているテクニカル指標を削除することができます。

①表示しているテクニカル指標を左クリックし、指標を選択します。

選択している状態で、下記いずれかの操作をすると削除することができます。

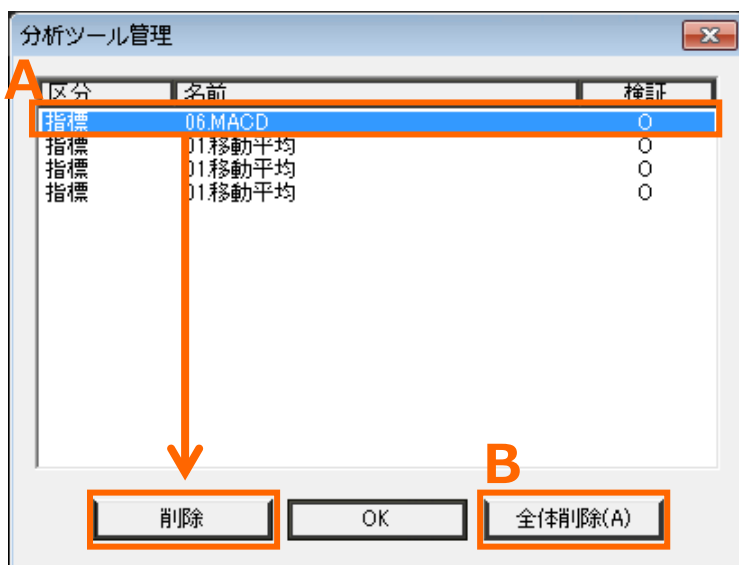
- A) チャート背景上で右クリック、右クリックメニュー内「分析ツール削除」をクリックする。
- B) キーボードの「Delete」キーを押す。



※テクニカル指標上で左クリック（選択）すると、色が変わります。  
左図は MACD を選択しています。

②チャート背景上で右クリックし、右クリックメニュー内「分析ツール管理」を選択すると、表示中のテクニカル指標の一覧画面が開きます。

- A) 1つを選択して、「削除」ボタンをクリックすると、当該テクニカル指標が削除されます。
- B) 「全体削除」をクリックすると、表示中の全テクニカル指標が削除されます。



## ラインツールバー（チャート右アイコン）

### トレンドライン

1.チャート画面右側の「チャートツールバー」より、「トレンドラインアイコン」をクリックします。



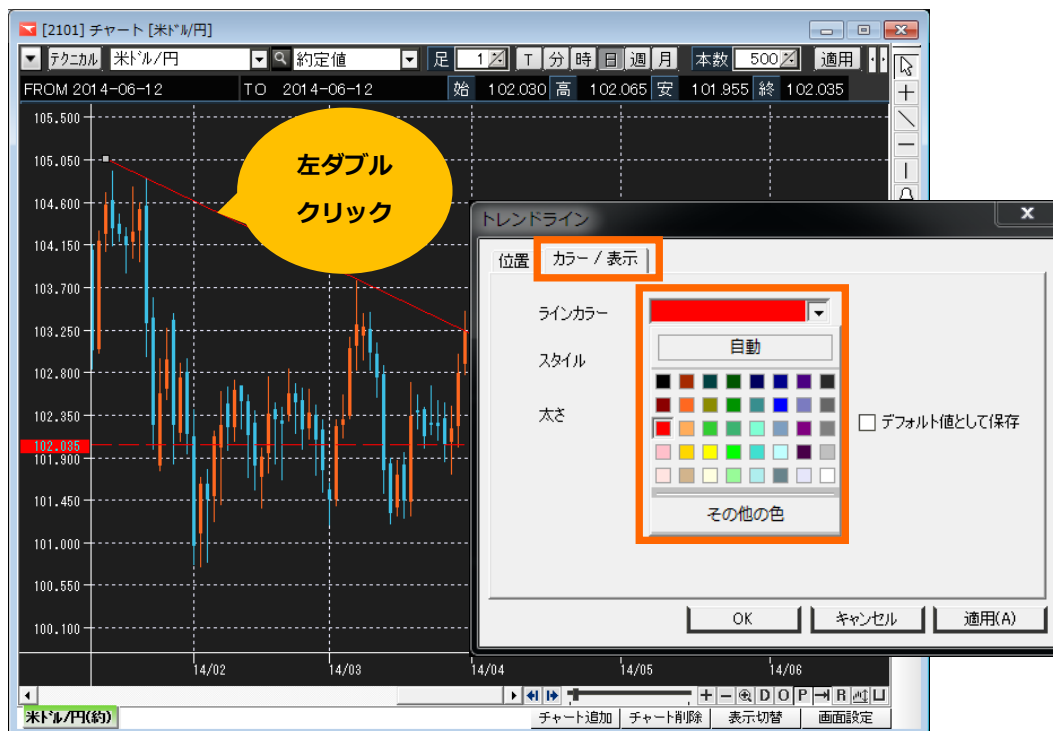
2.トレンドラインの始点（A）を決め、左クリックしたまま、ドラッグします。

ドラッグを離れた場所（B）までトレンドラインを引くことができます。



## トレンドラインの色の変更方法

表示したライン上でダブルクリックし、「トレンドライン」>「カラー/表示」より選択、「OK」ボタンをクリックします。



## トレンドラインを複数・連続して引く方法

チャート背景をダブルクリックし、「チャート環境設定」>「その他オプション」にて、『トレンドラインの複数使用』にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。

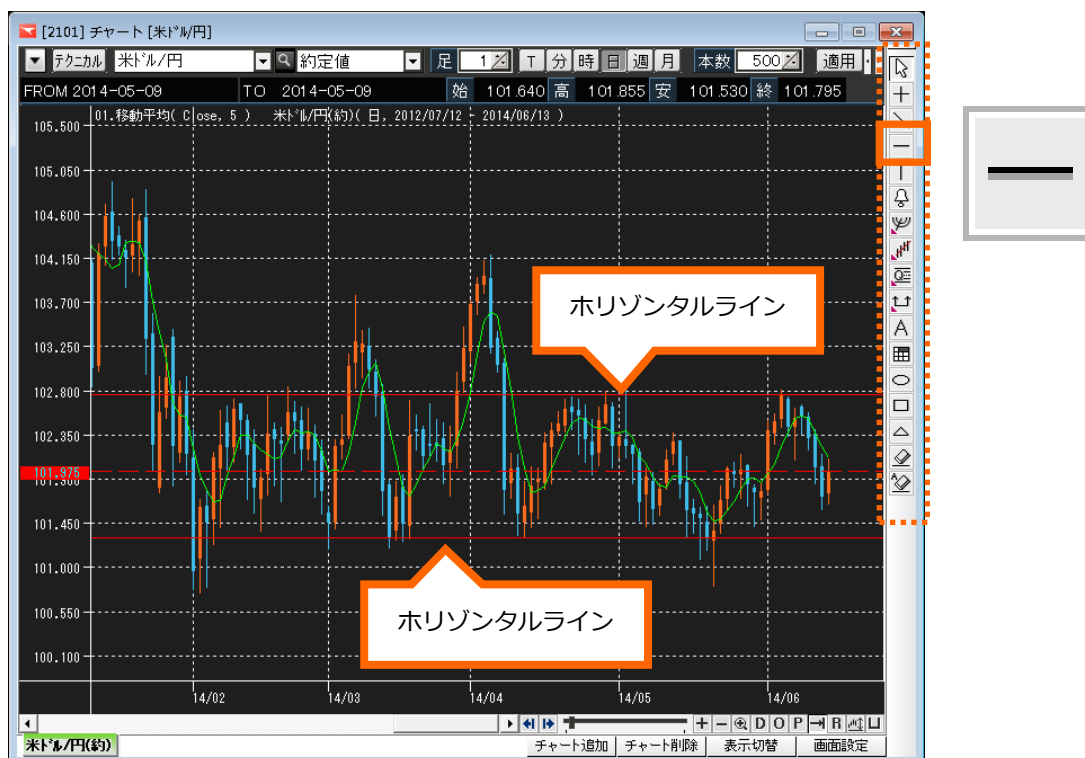


※初期設定：オフ（チェックが入っていない）

## 水平線・垂直線・アラーム線

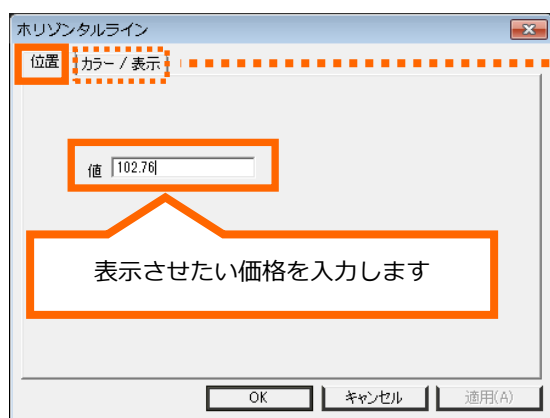
### 1. 水平線 (Y軸: 価格帯を基準とした横線)

水平線アイコンをクリックし、チャート上のラインを表示させたいポイントでクリックすると、表示されます。



表示させたラインの位置を動かしたい場合は、左クリックし、ドラッグで移動させます。

また、ラインをダブルクリックすると、設定画面が表示され、任意の価格を入力し、表示させることができます。色を変更することもできます。



カラーも設定することができます。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインの色の変更方法\)](#)

※トレンドラインの連続使用状態になっている場合、既に引いたラインを選択することができないため、上記設定画面を表示することができません。

連続使用の設定を解除するか、ラインツールバー上段の矢印マークをクリックしてから設定してください。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインを複数・連続して引く方法\)](#)

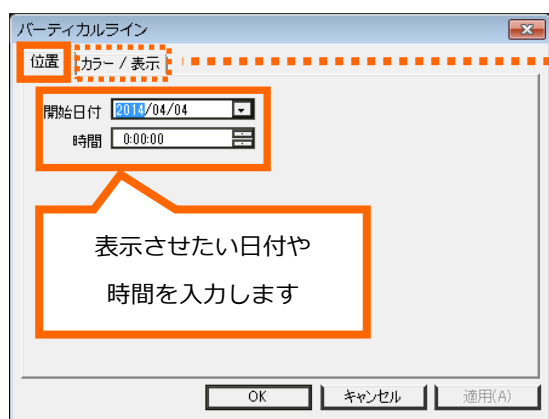
## 2.パーティカルライン (X 軸：時間帯を基準とした縦線)

パーティカルラインアイコンをクリックし、チャート上のラインを表示させたいポイントでクリックすると、表示されます。



表示させたラインの位置を動かしたい場合は、左クリックし、ドラッグで移動させます。

また、ラインをダブルクリックすると、設定画面が表示され、任意の日時を入力し、表示させることができます。色を変更することもできます。



カラーも設定することができます。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインの色の変更方法\)](#)

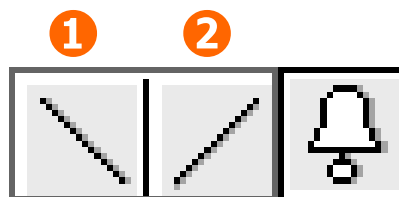
※トレンドラインの連続使用状態にしている場合、既に引いたラインを選択することができないため、上記設定画面を表示することができません。

連続使用の設定を解除するか、ラインツールバー上段の矢印マークをクリックしてから設定してください。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインを複数・連続して引く方法\)](#)

### 3.アラーム線（レジスタンスラインとサポートライン）

①レジスタンスラインを上回ったら、②サポートラインを下回ったら、その旨をお知らせ(画面と音)を表示します。

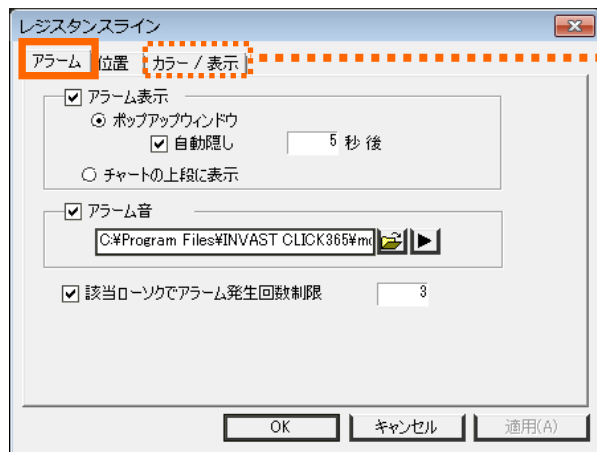


- ①レジスタンスライン（上値抵抗線）
- ②サポートライン（下値抵抗線）

ラインの引き方は、トレンドラインと同じです。[\(関連→トレンドライン\)](#)

#### ■アラームの表示方法・音・回数を設定方法

表示したアラーム線をダブルクリックすると設定画面が表示されます。



カラーも設定することができます。

[\(関連→ラインツールバー（チャート右アイコン）→トレンドラインの色の変更方法\)](#)

- ・アラーム・・・表示場所を選択することができます。
- ・アラーム音・・・音を選択、確認することができます。
- ・アラーム回数・・・設定回数分まで、価格がラインに到達するたびにアラーム通知します

※メールでの通知はありません。

※トレンドラインの連続使用状態にしている場合、既に引いたラインを選択することができないため、上記設定画面を表示することができません。

連続使用の設定を解除するか、ラインツールバー上段の矢印マークをクリックしてから設定してください。

[\(関連→ラインツールバー（チャート右アイコン）→トレンドラインを複数・連続して引く方法\)](#)

## フィボナッチ分析ツール

エリオット波動論の基本となる考え方「フィボナッチ数列とその特徴」から値幅観測やサイクル等を分析する手法です。



※上図はフィボナッチ・アークを表示しています。

①	フィボナッチ・アーク	指定した始点から終点までの、38.2%、50%、61.8%のポイントを元に、弧（アーク）を描画します。
②	フィボナッチ・ファン	指定した始点から終点までの角度に対してその38.2%、50%、61.8%となる角度のラインを描画します。
③	フィボナッチ・リトレイメント	指定した始点から終点までの、価格に対して38.2%、50%、61.8%などの水平ラインを描画します。
④	フィボナッチ・タイム・ゾーン	指定したポイントからフィボナッチ数列の1、1、2、3、5、8、13、21、34となる時間軸に垂直ラインに描画します。
⑤	ギャン・ライン	仰角が45°のラインを描画します。（ギャン・アングル 1×1）
⑥	ギャン・ファン	ギャン・ファン（ギャン・アングル 4×1、2×1、1×1、1×2など）を表示します。
⑦	ギャン・グリッド	起点（クリック地点）から終点までの仰角、俯角ともに45度のラインをチャート全体に表示します。

※表示したフィボナッチをダブルクリックすると、色等を選択する設定画面が表示されます。

[（関連→ラインツールバー（チャート右アイコン）→トレンドラインの色の変更方法）](#)

※トレンドラインの連続使用状態になっている場合、既に引いたラインを選択することができないため、設定画面を表示することができません。

連続使用の設定を解除するか、ラインツールバー上段の矢印マークをクリックしてから設定してください。

[（関連→ラインツールバー（チャート右アイコン）→トレンドラインを複数・連続して引く方法）](#)

## 回帰線

任意の期間の終値などを元に、統計学の回帰分析（最小二乗法で算出される線形回帰）を利用したトレンドラインです。



①	回帰線	ドラッグ操作で指定した期間中の終値などを元に算出される線形回帰をトレンドラインとしてチャート上に表示します。
②	Raff 回帰線	指定した期間で算出される線形回帰を基準に上下の価格の中で最大価格差となる価格を通る線形回帰と平行な二つのラインを引きます。
③	標準偏差の回帰チャネル	指定した期間で算出される線形回帰とその標準偏差を求め、線形回帰を中心とし、標準偏差の整数倍乖離した二つの平行ラインを引きます。
④	標準誤差の回帰チャネル	指定した期間で算出される線形回帰とその標準誤差を求め、線形回帰を中心とし、標準誤差の整数倍乖離した二つの平行ラインを引きます。

※表示した回帰線をダブルクリックすると、色等を選択する設定画面が表示されます。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインの色の変更方法\)](#)

※トレンドラインの連続使用状態になっている場合、既に引いたラインを選択することができないため、設定画面を表示することができません。

連続使用の設定を解除するか、ラインツールバー上段の矢印マークをクリックしてから設定してください。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインを複数・連続して引く方法\)](#)



## 分析ツール

各アイコンをクリックし、起点から終点までドラッグしたままマウスを動かすと、分析ラインが表示されます。



①	四分割線	指定した2点間の最高値と最安値を四分割してラインを描きます。 中心線を破線で表示します。 (ギャンのパーセンテージリトレースメント)
②	三分割線	指定した2点間の最高値と最安値の1/3地点と2/3地点および中心に ラインを描きます。中心線を破線で表示します。(ギャンのパーセン テージリトレースメント)
③	スピードライン	指定した2点(時間軸に対して早い方からA、Bとする)を結ぶライン と、Aからの水平線、Bからの垂直線が交差する点とBの距離が1/3 と2/3となる点とAを結ぶラインを描きます。
④	アンドリュース・ピッチ ホーク	波動からトレンドとレジスタンス、サポートを描画するツールです。 波動としてカウントできる3つの高値と安値を選択し、その後のレジ スタンスとサポートを分析するツールです。 ※平行線を引きたい場合 にも利用することができます。
⑤	サイクルライン	指定した2点間と同じ幅で、チャート全体に縦軸を書きます。起点を 破線で表示します。

※表示した各分析ラインをダブルクリックすると、色等を選択する設定画面が表示されます。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインの色の変更方法\)](#)

※トレンドラインの連続使用状態になっている場合、既に引いたラインを選択することができないため、設定画面を表示することができません。

連続使用の設定を解除するか、ラインツールバー上段の矢印マークをクリックしてから設定してください。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインを複数・連続して引く方法\)](#)

## 期間分析ツール

各アイコンをクリックし、起点から終点までドラッグしたままマウスを動かすと、分析ラインが表示されます。



①	期間収益率	ドラッグで指定し期間の収益率を計算し、チャートのデータ本数と収益率を表示します。
②	期間分析	ドラッグで指定した期間のチャートのデータ本数と、時間軸に対し逆方向の期間のチャートのデータ本数を表示します。

※表示した分析ラインをダブルクリックすると、色等を選択する設定画面が表示されます。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインの色の変更方法\)](#)

※トレンドラインの連続使用状態にしている場合、既に引いたラインを選択することができないため、設定画面を表示することができません。

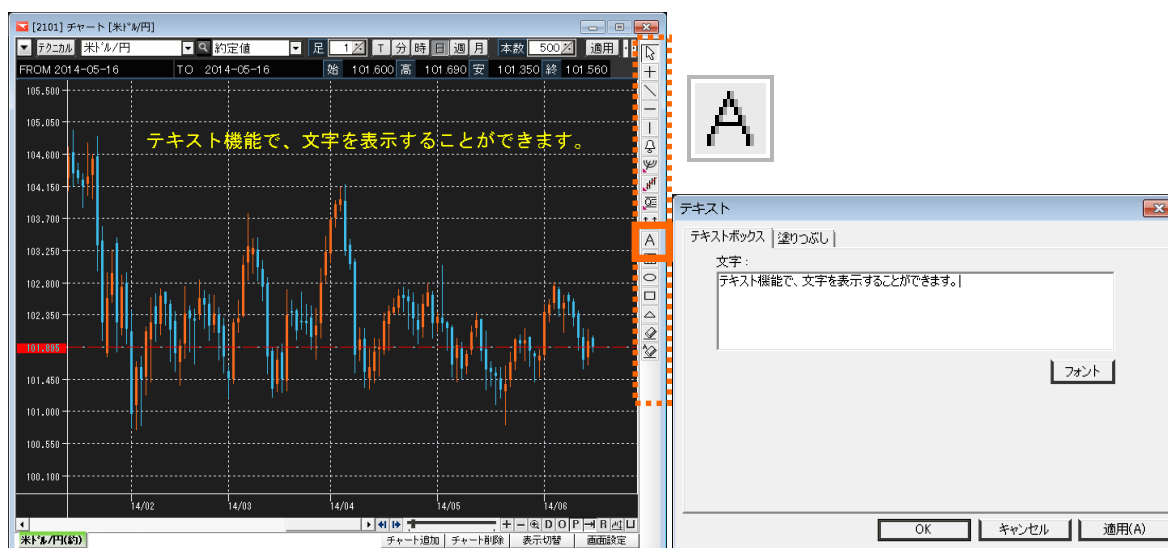
連続使用の設定を解除するか、ラインツールバー上段の矢印マークをクリックしてから設定してください。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインを複数・連続して引く方法\)](#)

## テキスト・イメージ

### 1.テキスト

アイコンをクリックし、チャート上テキスト表示させたい場所で左クリックすると、テキスト入力欄が表示されます。



### 2.イメージ

イメージ一覧表の中から、表示させたいアイコンをクリックし、イメージ図を表示させたい場所で左クリックすると、表示されます。



表示させたテキストやアイコンの位置を動かしたい場合は、左クリックし、ドラッグで移動させます。  
色を変更させたい場合は、ダブルクリックすると設定画面が表示されます。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインの色の変更方法\)](#)

※トレンドラインの連続使用状態にしている場合、表示しているテキストやイメージ図を選択することができないため、設定画面を表示することができません。

連続使用の設定を解除するか、ラインツールバー上段の矢印マークをクリックしてから設定してください。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインを複数・連続して引く方法\)](#)

## サークル・ボックス・トライアングル

アイコンをクリックし、チャート上に表示させたい箇所、 起点 (A) をクリックし、 ドラッグを離れた場所 (B) までの図が表示されます。



位置を動かしたい場合は、左クリックし、ドラッグで移動させます。形は自由に調整することができます。色を変更させたい場合は、ダブルクリックすると設定画面が表示されます。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインの色の変更方法\)](#)

※トレンドラインの連続使用状態になっている場合は、既に表示させたサークル・ボックス・トライアングルを選択することができません。

連続使用の設定を解除するか、ラインツールバー上段の矢印マークをクリックしてから設定してください。

[\(関連→ラインツールバー \(チャート右アイコン\) →トレンドラインを複数・連続して引く方法\)](#)

## 削除・全て削除

ラインツールバーの各アイコンより表示させたラインなどを削除することができます。



①	削除	表示させたラインなどを1つずつ削除することができます。 削除アイコンをクリックした後、削除したいラインなどをクリックします。
②	全て削除	チャート上に表示されている全てのラインなど一度に削除できます。

※テクニカル指標を削除する場合は、下記テクニカル指標の削除を参照ください。

[\(関連→テクニカル指標の表示→テクニカル指標の削除\)](#)

## チャートコントロールバー（チャート下アイコン）

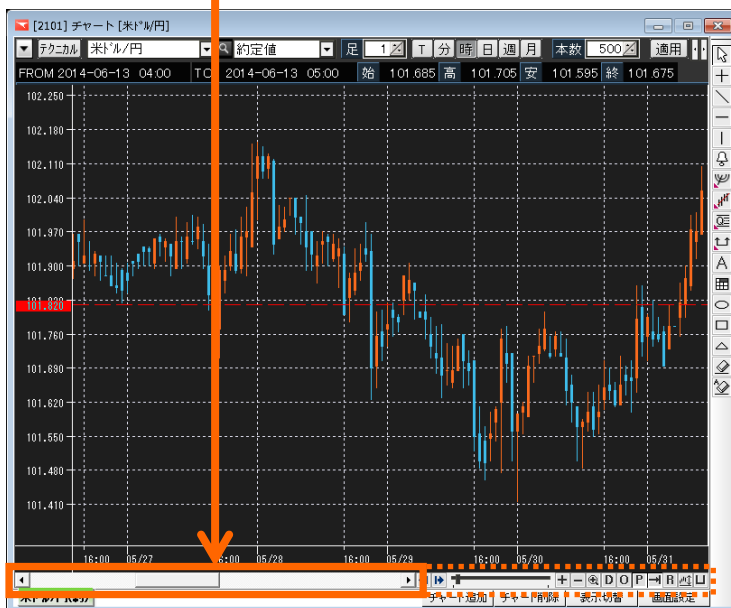
### 時間軸スクロールバー

過去チャートを確認することができます。

遡ることができる期間は、チャート上「本数」で設定した期間です。



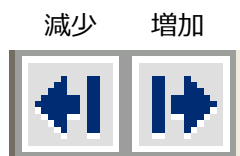
※本数を設定することにより、  
過去 3000 本分まで遡ることができます。



※過去チャートを見ているときに、チャートが現在足に戻ってしまう場合は、設定することができます。  
[\(関連→プライス受信時に最後のローソクに移動\)](#)

## チャート右側余白減少・増加

左右のアイコンをクリックすることで、チャート右側の余白を減少・増加させることができます。



※左図は、増加を行いました。

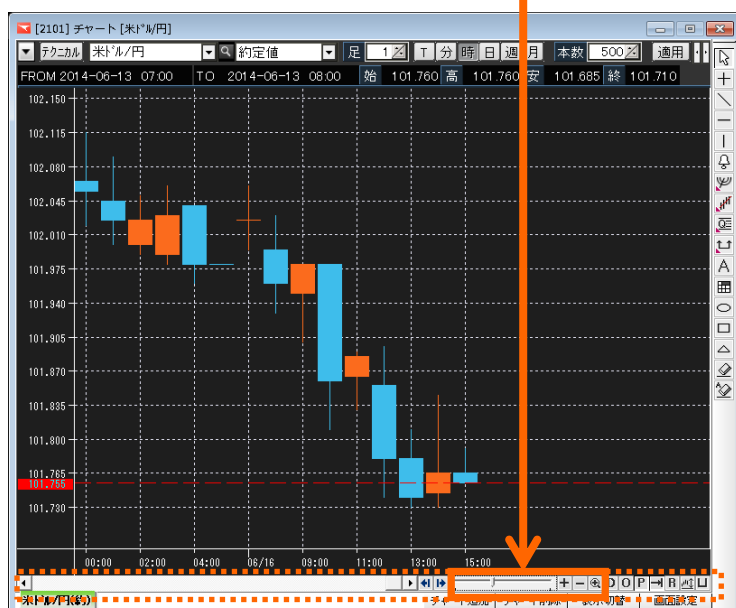
※チャート右側の余白を細かく設定されたい場合は、[チャート環境設定>表示オプション2](#)にて設定することができます。(関連→[表示オプション2](#))

## 時間軸設定

1 画面に表示させる期間を設定します。

拡大：表示期間が短くなり、ローソク足を大きく表示することが出来ます。

縮小：一度にたくさんのローソク足を確認することが出来ます。



※左図は、拡大を行いました。



## 選択領域拡大

チャート上、ドラッグした選択箇所を拡大表示することができます。

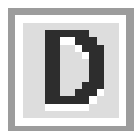
- ① 選択領域拡大アイコンをクリック
- ② 拡大表示させたい箇所（A→B）をドラッグ
- ③ 選択部分が拡大されます。



※拡大表示を元に戻す場合は、「[時間軸スクロールバー](#)」の縮小で調整してください。

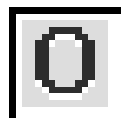
## データウィンドウ

マウスポインタ選択のチャート情報（四本値・テクニカル指標）を別ウィンドウで表示します。



## 注文ライン・注文ラベル

注文中（未約定注文）情報をライン・ラベルで表示することができます。



※注文ラベルをクリック、注文ラインを移動させることにより注文変更・取消を行うこともできます。

[\(関連→注文変更・取消\)](#)

※注文ラベル・ラインの色や表示内容を変更することもできます。[\(関連→注文 \(表示制御\)・\(表示スタイル\)、トリガ \(表示スタイル\)\)](#)

## 建玉（ポジション）ライン・ラベル

建玉（ポジション）情報をライン・ラベルで表示することができます。



※建玉ラベルをダブルクリック、建玉ラインをドラッグすることで決済注文を発注することもできます。[\(関連→決済注文\)](#)

※建玉ラベル・ラインの色や表示内容を変更することもできます。

[\(関連→建玉 \(表示制御\)、建玉 \(表示スタイル\)\)](#)

プライス受信時に最後のローソクに移動

価格が変動した際に、直近のローソク足を表示させるかどうかを設定します。

スライダーで過去のチャートを確認している際には、オフにすることをお勧めします。

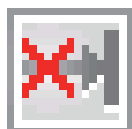


### 1. オン状態



レートを受信する度、常にチャートを右寄せし、直近の価格推移を表示させます。  
(初期設定)

### 2. オフ状態



レートを受信しても、チャートは右寄せされません。

## Y 軸反転

Y 軸表示を上下（円高・円安）反転させることができます。



## Y軸の固定・固定解除

Y軸上下の範囲を固定・固定解除することができます。

リッチクライアントのチャートは選択チャートや指標が1画面で表示されるよう、Y軸の上下幅（価格帯）が固定されていません。

その時のチャート状態によってY軸の上下幅（価格帯）などが変わってきます。

※初期設定では、固定解除状態となっています。



※固定解除後、レートが更新されるまではY軸の上下幅（価格帯）は変わりません。

すぐにY軸の固定解除し、表示を更新させたい場合や、価格帯などを設定してY軸を固定したい場合は、下のヒント！をご覧ください。

### ヒント！

Y軸の固定・固定解除について

リッチクライアントのチャートは、チャートの背景やローソク足を直接クリックして移動させると、下図のようにY軸が固定されます。

Y軸の固定・固定解除アイコンでも解除することができますが、Y軸をダブルクリックし、「Y軸設定」画面、「価格帯指定のチェックを外す」と、解除することができます。



## チャートツール表示/非表示

チャートツール（メインメニュー・ラインツールバー・チャートコントロールバー）の表示/非表示を設定することができます。



## チャート表示分割タブ (チャート下タブ)

### 表示通貨ペアタブ

表示中の通貨ペアを確認することができます。



### <タブの種類>

1. 通貨ペアと、気配値・約定値の別を表示します。

選択中のチャートは、タブに緑色ラインが表示されます。

**米ドル/円(約)**

2. 同時に複数のチャートを表示している場合、選択していないチャートには、色がつきません。

米ドル/円(約)

3. 「チャート追加」し、通貨ペア等を選択していない状態のときは (New0000) のように表示されます。

**New0000**



## チャート追加・チャート削除タブ

同一チャート画面に、表示チャートを追加・削除することができます。



### チャート追加

・・・表示チャートを増やすことができます。

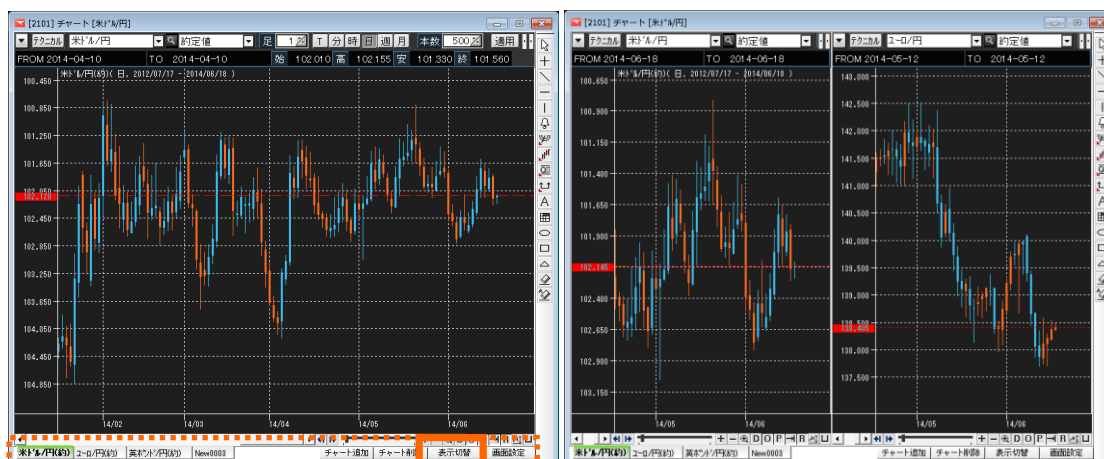
※最大 **10** チャートまで追加することができます。

### チャート削除

・・・選択中のチャートを削除することができます。

## 表示切替タブ

画面設定タブで設定したレイアウトと選択している通貨ペアのチャート単独表示を切り替えます。



### 表示切替

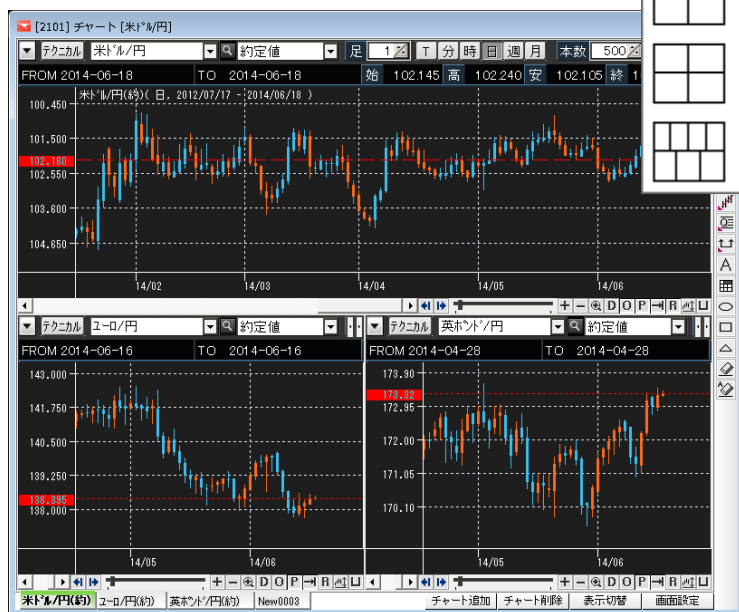
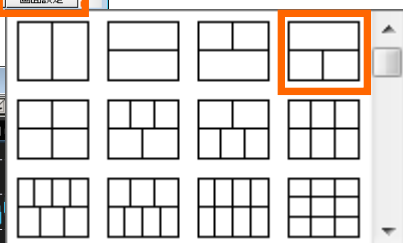
## 画面設定タブ

チャートを複数表示させたい場合、12種類のレイアウトから選択することができます。



画面設定

<選択可能レイアウト>



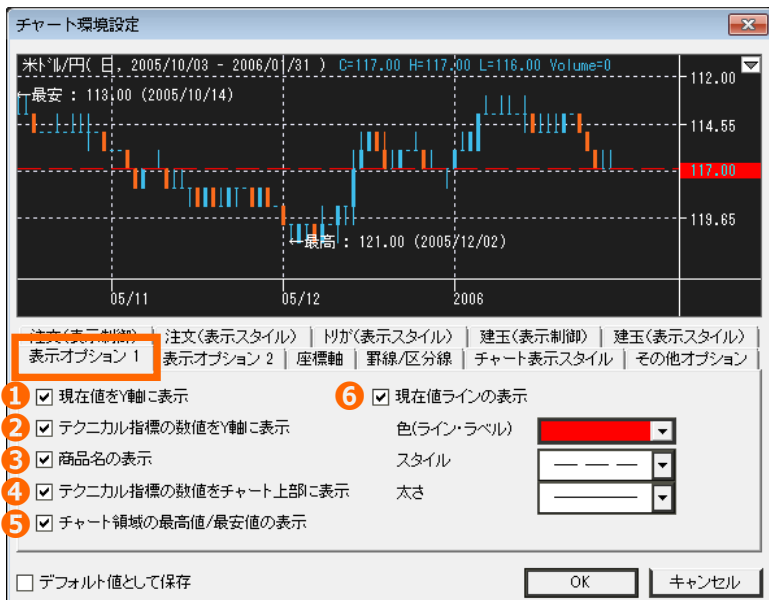
## チャート環境設定

チャート表示スタイルや表示内容を設定することができます。

チャート上で右クリックし、「チャート環境設定」を選択するか、チャート上でダブルクリックすると設定メニューが表示されます。

### 表示オプション 1

通貨ペアや現在値などの表示/非表示、ラインのスタイルを設定することができます。



表示させたい内容にチェックを入れてください。

設定画面上段の図は、選択している内容がどのように表示されるのかを表しています。



- ① 現在値
- ② テクニカル指標の数値を  
Y 軸に表示  
※Y 軸(右)にのみ表示されます。
- 設定方法>  
[「チャート環境設定・座標軸」](#)
- ③ 商品名
- ④ テクニカル指標の数値を  
上部に表示
- ⑤ 最高値/最安値
- ⑥ 現在値ライン

## 表示オプション 2

左右上下の余白や、レート受信時の挙動などを設定できます。



- ① レート受信時に最後のローソクに移動 > 「[チャート受信時に最新レート移動](#)」機能と同じ
- ② クリック時に数値照会ウィンドウを表示 > 「[データウィンドウ機能](#)」と同じ
- ③ チャート上下の余白 > チャートの上下部分の余白を調整することができます。
- ④ チャート右側の余白 > 「[チャート右側余白減少・増加機能](#)」と同じ

## 座標軸

Y 軸（縦軸）・X 軸（横軸）についての設定を行うことができます。

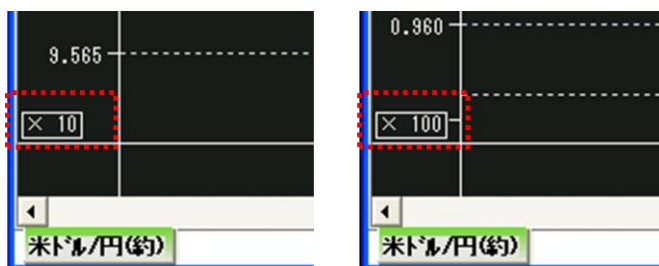


- ① Y 軸（左）の表示
- ② Y 軸（右）の表示
- ③ X 軸（日付）の表示
- ④ Y 軸目盛の対数表示
- ⑤ X 軸・Y 軸目盛の太字表示
- ⑥ Y 軸目盛の余白

### ヒント!

#### Y 軸目盛の余白について

メモリ幅の設定値が小さい場合、下図のように、Y 軸に「×10」や「×100」と表示されることがあります。この場合は Y 軸目盛の余白を広げて全て表示できるように設定ください。



## 罫線/区分線

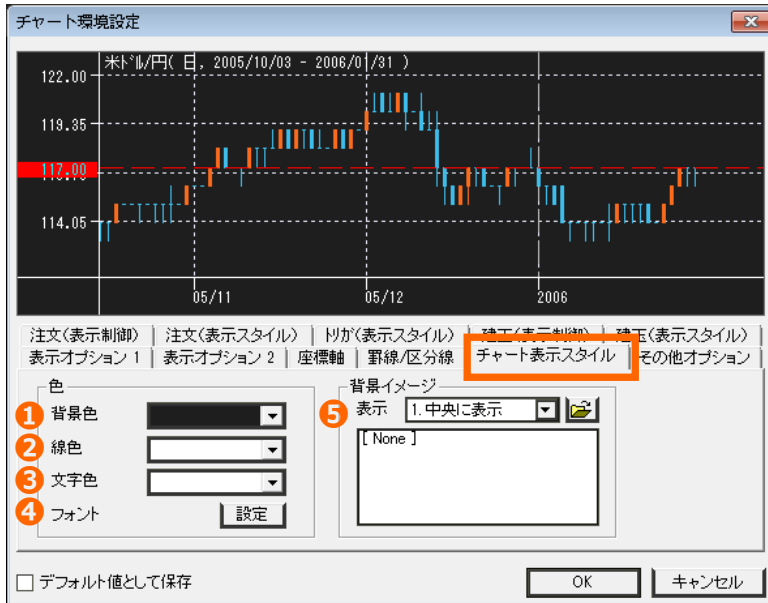
罫線/区分線の表示・非表示や色・スタイルを設定することができます。



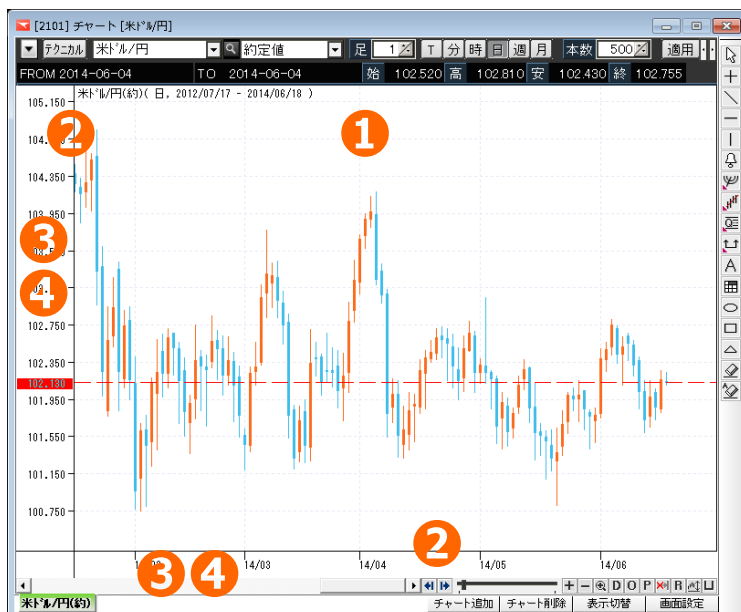
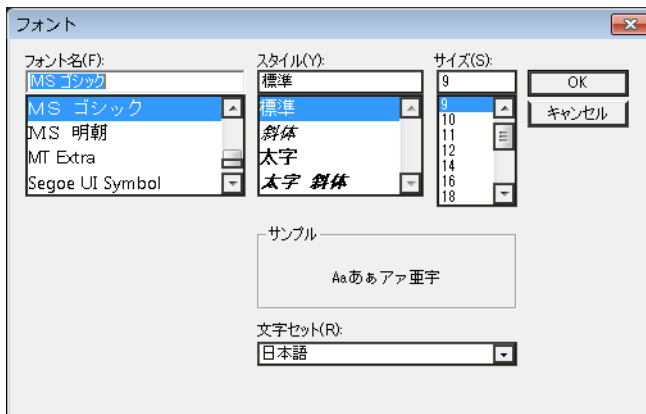
- ① 横罫線（時間軸）
- ② 縦罫線（価格軸）
- ③ 内部区切り線  
（上段ローソク足・トレンド系指標  
と下段オシレータ系指標との区切り  
線）
- ④ 年区分線（時間軸）

## チャート表示スタイル

背景色や、フォントの色などを設定することができます。



フォントは、「設定」にて詳細設定することができます。



- ① 背景色
- ② 線色
- ③ 文字色
- ④ フォント
- ⑤ 背景イメージ

色ではなく、画像を背景に表示することができます。

## その他オプション

トレンドラインの連続使用や複数商品のチャートを表示したときの設定が可能です。



- ① トレンドラインの連続使用  
 >トレンドライン等の描画ツールを  
 続けて利用したい時に使用します。  
 (FX24 では連続使用がデフォルト)
- ② 複数商品に現在値を表記
- ③ 複数商品に注文・建玉を表示  
(関連→注文ライン・注文ラベル、  
 建玉 (ポジション) ラベル・ライン)
- ④注文、建玉ラベルの初期配置  
 縦横均等配置または左寄せのどちら  
 かで表示します。

※上図は、ユーロ/円を複数商品機能で追加しています。[\(関連→チャート基本設定メニュー\)](#)



## 注文（表示制御）・（表示スタイル）、トリガ（表示スタイル）

「注文（表示制御）」注文ラベル、ラインの表示内容を設定することができます。



※TB はトレール値幅のことです。

### ① 注文ラインの表示・注文ラベルの表示

チャート上に注文ライン・ラベルを表示することができます。[\(関連→注文ライン・注文ラベル\)](#)

### ① 表示する注文状態

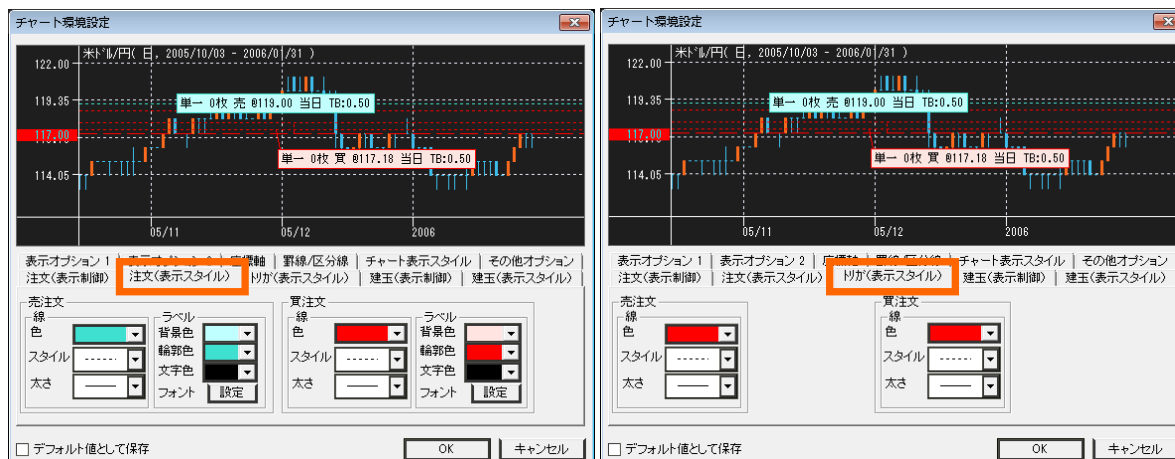
有効：注文中の状態です。

待機中：IF Done 注文など IF 注文が成立する前の Done 注文などです。

### ③ 注文ラベル表示の項目と表示例

注文受付番号	新規/決済	注文手法	執行条件	発注数量	売買	価格	注文状況	期限
20130000001	新規	単一	指値	10 枚	買	@99.00	有効	無期限

「注文・トリガ（表示スタイル）」注文ライン・ラベルの色やスタイルを設定することができます。



## 建玉（表示制御）、建玉（表示スタイル）

「建玉（表示制御）」建玉ライン・ラベルの表示内容や、建玉ライン・ラベル操作時の動作を設定することができます。



### ①建玉ラインの表示・ドラッグ操作で単一画面を呼び出す

＞建玉ラインをドラッグすると、決済注文画面が表示されます。

その際、ドラッグした値の価格が注文画面に表示されます。

### ②建玉ラベルの表示・ダブルクリック操作で「単一・OCO・ストリーミング」を呼び出す

＞選択建玉に対する決済注文画面を呼び出すことができます。

[\(関連→建玉（ポジション）ライン・建玉ラベル\)](#)

### ③建玉ラベル表示の項目と表示例

注文番号	売買	建玉数量	約定価格	スワップポイント相当額	約定成立日時
2013001-1	買	5枚	@98.50	未 SP:500	9/1 12:10

「建玉（表示スタイル）」建玉ライン・ラベルの色やスタイルを設定することができます。



## 注文

### 新規注文

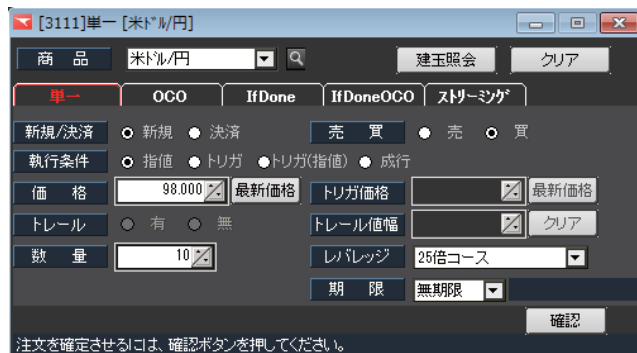
チャート上から、新規注文を発注することができます。

1. 発注したい価格の上で「右クリック」するとポップアップメニューが表示されます。  
右クリックメニューの中から、執行条件を選択します。



※指値とトリガの売買の別は、チャート上クリックした位置より変わります。

2. 注文の発注画面が表示されます。注文画面の価格(トリガ価格)は、選択した価格が自動的に入りますので、条件を入力し、確認ボタンをクリックします。



3. 内容を確認し、「実行」をクリックすると発注されます。



4. 発注が完了すると、チャート画面上で注文内容を確認することができます。

## 決済注文

チャート上から、決済注文を発注することができます。

1. チャートの建玉ラベルを「ダブルクリック」します。

(建玉ラベルの表示方法：[関連→建玉（ポジション）ラベル・ライン](#))



2. 決済注文の入力画面が表示されます。条件を入力し、確認ボタンをクリックします。

約定成立日時	約定価格	建玉数量	未発注残	決済数量
2014/06/16 15:52:20	101.555	10	10	10

3. 内容を確認し、「実行」をクリックすると発注されます。

新規・決済	決済	売 買	売
注文手法	単一	執行条件	指値
価 格	102.400	トリガ価格	-
トレール	-	トレール値幅	-
数 量	10	レバレッジ	-
		期 限	当日

## 注文変更・取消

チャート上から、注文変更・取消を行うことができます。

1. チャートの注文ラベルを「ダブルクリック」します。  
(注文ラベルの表示方法：[関連→注文ライン・注文ラベル](#))



2. 注文変更・取消の入力画面が表示されます。

変更：項目背景箇所を変更することができます。入力後「注文変更」をクリックします。

取消：「注文取消」をクリックします。

The screenshot shows the '注文変更・取消' (Order Change/Cancel) dialog box. It contains three main sections: '注文協会' (Exchange), '決済建玉情報' (Settlement Position Information), and '関連注文' (Related Order). The '注文協会' section is highlighted, showing details for order number 1000000010, including order type (Single Buy), price (98,000), and quantity (10). The '注文変更' (Order Change) button is visible at the bottom.

3. 内容を確認し、「変更実行」または「取消実行」をクリックすると発注されます。

The screenshot shows two confirmation dialog boxes side-by-side. The left one is '変更確認' (Change Confirmation) and the right one is '取消確認' (Cancel Confirmation). Both dialog boxes display the same order details as the previous screenshot, including order number, type, price, and quantity. The '変更確認' dialog has '変更実行' (Execute Change) and 'キャンセル' (Cancel) buttons, while the '取消確認' dialog has '取消実行' (Execute Cancel) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

## ヒント!

注文ラインをドラッグで移動すると価格変更を行えます。

①注文ラインをクリックすると、ラインの色が灰色っぽい色に変わります。

②クリックしたまま、変更したい価格ラインまでドラッグして移動させます。

その際、Y軸価格帯に移動値が表示させます。

③変更画面にて、価格を確認、また変更し、変更実行ボタンをクリックすると発注されます。



【商号/登録番号】

インヴァスト証券株式会社

第一種金融商品取引業者 第二種金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 26 号

【加入協会】一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会

---

(2025年7月)